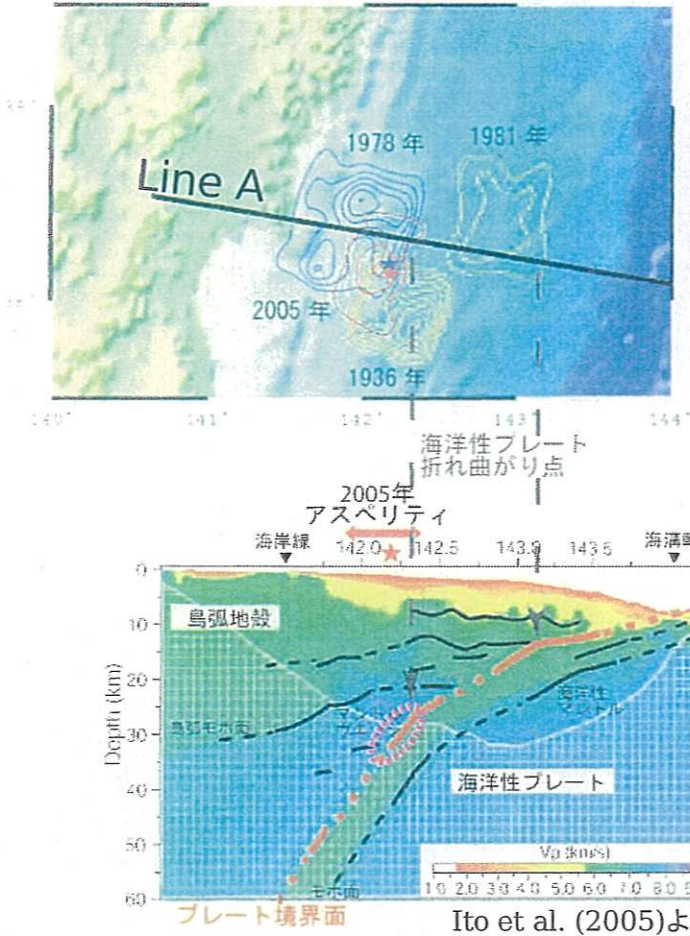


(2) Line A 解析結果

山中、東大地震研EIC地震学ノート No.168より



赤色コンターが2005年8月16日の地震の本震位置とすべり量分布

初動トモグラフィーと反射波マッピングにより得られた地殻構造

- 太平洋プレートは2個所で折れ曲り(矢印で示した位置)

2005年8月16日の破壊域と地殻構造

- 破壊域は太平洋プレートの沈み込み角度が急変した西側、太平洋プレートと島弧マントルが接する場所で発生している
- 破壊域周辺の太平洋プレート沈み込み角度は25度前後
- 破壊域周辺でのプレート境界面の深さは30-35km